

2022年度（第106回）日本アマチュアゴルフ選手権競技

第4ラウンドを終えて（7月1日金）

広島カンツリー倶楽部 八本松コース

優勝 岡田 晃平(スカイベイGC)



[JGA 日本ゴルフ協会](#) [【2022年度\(第106回\)日本アマチュアゴルフ選手権競技】](#)

第3ラウンドを終えた時点でトップと2打差の2位の位置につけた岡田は最終日に向けて意気込みをこう語っていた。「優勝を狙うには絶好のポジションだと思うし僕にとっては最後のチャンスだと思うので後悔しないよう明日は全力を尽くす。」まさに有言実行、四国のジュニア選手に明るい話題をもたらし身をもってお手本を示した。

続く

四国アマチャンピオン 福住 修 (スカイベイGC)

福住修が5アンダーパー67をマークし、通算-9で5位タイに入る

2022年度(第106回)日本アマチュアゴルフ選手権第4ラウンドが7月1日、広島カントリー倶楽部八本松コース(7, 229ヤード パー72)にて行われ、福住修(スカイ・ベイGC)は、1イーグル、6バーディ、3ボギーの5アンダーパー67をマークし、通算9アンダーパーで5位タイに食い込んだ。

「今日は良かったんですけど、17番のパー3で距離を間違えて奥の斜面に行っちゃってボギーを打ってしまったので、そこは良くなかったです。あとはショットも良かったですし、パットもしっかり入ってくれたので、アンダーパーでまわられてよかったです。

後半バーディ、パー、イーグル、バーディスタートだったので、もう少しいけるなと思ったんですけど、そこからあまり伸ばせなかったです。反省するべきところもあるんですけど、全力は出し切ったので、来年また練習して順位をあげられるよう頑張りたい」という。

最終日に4日間で初めて60台で回ったが、「ショットの精度を上げなければいけないと思いました。飛距離が周りより出るんですけど、ラフに入ったりするとパーで終わってしまうことがありました。周りを見ていると、フェアウェイキープをして、そこからバーディを取っているの、そこがぼくにはまだ足りないところ」と今後の課題を挙げた。

5位タイに入り、「日本オープンの最終予選に出られるのは、良い経験になると思うので、それに向けて調整していきたい」とこれからの飛躍を期待したい。

